

ブラジルサッカーの特性について  
金沢 亮 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)  
指導教員 菅井 京子

キーワード ブラジルサッカー, 混血, 遊戯性

はじめに

本研究では『サッカー王国ブラジル』『ブラジルサッカー総覧』『ブラジル跳躍の軌跡』『ブラジルのホモ・ルーデンス』などの文献を用いて、ブラジルのサッカー史から現在のサッカー王国になる経緯を調べブラジルサッカーの特性について明らかにする。

### I. ブラジルの多様な人種

1500年にペドロ・アウヴァレス・カブラルによってブラジルが発見されてから、多くの移民がブラジルにやってきた。黒人は白人によって奴隷として連れてこられた。しかし、ヨーロッパからやってきた白人達がブラジル社会を支配していった。1891年の奴隷解放令が出てからも、白人優位の序列に変化はなかった。ブラジル社会は富を独占した白人の上層階層と、社会的に排除された混血の貧困層の二極社会となった。ブラジル人のスター選手の多くが貧困層から誕生している。

### II. ブラジルサッカーの起源

ブラジルサッカーの起源は一人のイギリス系ブラジル人によって始まった。サッカーは最初富裕層だけのものであった。そこから白人達は整備されたグラウンドとボールを用いて、コーチの元サッカーを行ったのに対し、混血の人々は自分達で布をかき集めボールを作り、遊びのサッカーを始めた。この遊びはペラーダと呼ばれている。ペラーダという遊びがブラジルの創造性豊かで楽しいサッカーを生み出した。ブラジル人ジャーナリストのフィリョはペラーダでの遊びから混血の人々の「本能」と「天性」が宿ったと言った。この「本能」と「天性」が創造的で遊戯的で見ている人がワクワクするような現在のブラジルサッカーの根源となったのではないだろうか。

### III. ブラジル代表チームのワールドカップ史と代表的な選手

ブラジル代表はワールドカップにおいて第1回大会(1930年)から第20回大会(2014年)まで最多の5回の優勝を誇っている。どの大会にも中心となる選手がいた。フリーデンライヒが「かわす」というサッカーに革新を与えてから、レオニダスはオーバーヘッドキックを編み出した。ガリンシャは華麗なドリブルで世界を圧巻した。そして先人達が生み出したこれらの「本能的」で「創造的」で「芸術的」で「遊戯性」溢れる美しいブラジルサッカーの魂を継承し体現しているのがロナウジーニョであり、この魂の繋がりこそが、ブラジルがサッカー王国と言われ続けるゆえんなのだと考える。

おわりに

サッカー王国ブラジルの根源にあるのは混血の人々特有の精神である。それは自由で創造的で芸術的な美しいサッカーを支える精神である。例え試合に勝っても、ブラジルらしくなければ国民は満足しない。遊びから始まったサッカーにブラジル人は熱狂し、情熱を燃やし続ける。フリーデンライヒやレオニダスやペレやガリンシャやロナウジーニョがそうであったように、このブラジルサッカーを魂がつなげていく限りブラジルは「サッカー王国」として君臨するだろう。

引用・参考文献

- ・堀坂浩太郎(2012年), ブラジル〜跳躍の軌跡〜, 岩波書店
- ・今福竜太(2008年), ブラジルのホモ・ルーデンス, 月曜社
- ・柴田昂(2001年), ブラジルサッカー総覧, 河出書房新社
- ・矢持善和(2006年), サッカー王国ブラジル, 東洋書店, 35頁